

2025年9月

青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

発行
第21号

暑さ寒さも彼岸までか。

9月も約半分が過ぎ、長く続いた酷暑も落ち着いてきたと感じております。景気に関しても少しずつ明るい話題が増えてきました。約2年ほど動き出すのではと言われ続けていた半導体が今度は年末に大きく動き出すと言われ、またかと思いましたが、大手半導体製造装置メーカーからの仕事が年末以降出ることが見えてきたとの声を耳にし、今度こそはと期待しております。工作機械メーカーの方からも、半導体関連の引合い・受注が増えてきていると聞いております。

日本国内受注数字

2025年7月受注額：約354億円

※鍛圧・板金機械は含まず。

前月比**11.1%減**、前年同月比**0.7%減**となりました。

7月は伸びた業種と下がった業種がハッキリしました。建機・電気製品(家電等)が大きく減らし、金型・自動車・航空機分野からの受注が大きく伸びました。

一営業の肌感覚としては、依然として中小・零細企業の設備投資は厳しく、設備投資(機械購入)をしている・話が出るのは数百人規模の中堅～大手企業がメインとの印象です。

中古機市場は活況になっておりますので、この流れが新台へ波及する事を期待しております。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：contact@bsmt.co.jp

2025年7月 米国工作機械受注について

2025年7月米国機械受注額
\$387.3million(約573億円／
\$1=¥148換算)前月比**9.5%減**、前年同月比**20.1%増**となりました。

2025年1月から6月までの機械受注総額は29億100万ドル(約4,300億円)となり、前年同期比で**14.4%**の増加となりました。受注額が強い傾向にも関わらず、受注数量は平年並みを示しております。機械分野では大幅なインフレは発生しておりませんので、引き続き自動化装置を備えた機械設備の受注(需要)が高いと考えられます。

また、工作機械業界の最大の顧客であり、2025年の受注数字を支えてきた鉄工所(ジョブショップ)からの受注が前月比**約14%**、前年

**JOHN DEERE**

同月比**10%弱**減少し、2025年を通して回復の兆しを見せてきましたが、ここにきて減速となりました。

一方、明るい話題もあり、日本でも活躍する米国の世界最大の農業機械メーカー『ジョンディア』が今後10年間に米国事業への大幅追加投資を行うとの発表を受け、同セクター及びサプライチェーンにおける機械設備投資が今後数カ月で急増する可能性があるとの報じられております。

(AMTレポートより)

2025年8月 米国自動車販売台数(新車)

2025年8月米国新車販売台数は前年同月比**2.3%増**の**145万9,369台**でした。

最大7,500ドルの電気自動車(EV)購入時の補助金が9月末に廃止となる為、GMやフォードなどに駆け込み需要の恩恵があったといえます。

トランプ政権は、日本・英国・EU・韓国と自動車輸入に対する追加関税を引き下げることで合意しました。これにより、これまで大幅

な値上げを抑えていた各メーカーが、今後本格的に値上げに踏み切る可能性があるほか、関税引き上げの車両が既存の在庫と置き換わりつつあることなどから、販売の伸びが鈍化する見通しが指摘されております。

7月末の総在庫台数は**268万台**で、前月の6月末の**283万台**から**5.3%**減少しました。関税の影響で輸入車在庫を中心に影響があったものと考えられます。

7月末の在庫日数をブランド別でみると、在庫が少なめだったのは、日系ではトヨタ22日、全数輸入の三菱29日(6月末は41日)、レクサス32日、輸入比率の高いマツダ35日(6月末は46日)、スバル40日、欧州ブランドではBMWが37日、韓国ブランドの起亜が31日でした。在庫が多めだったのは、米国ブランドではラム86日、リンカーン76日、ビュイック69日、キャデラック64日、フォード63日、日系ではアキュラ76日、欧州ブランドではVWが70日でした。それ以外ではホンダ43日、日産54日、インフィニティ59日、現代54日、ジェネシス61日でした。

米国メーカーの8月販売は、EV販売が過去最高となったGMが前年同月比**5.9%**増、フォードもEVが牽引し**4.9%**増でした。一方、ステランティスは**7.6%**減、テスラは駆け込み需要の恩恵もなく**10.1%**減で10カ月連続のマイナスとなりました。

日本車の8月販売は、トヨタが前年同月比**12.7%**増、ホンダは5.2%減、日産は1月以来の2桁増(**12.7%**増)となりました。スバルは**2.9%**減、マツダ**7.6%**減と両社ともに2カ月ぶりのマイナスとなりました。三菱は**21.0%**減で7月に続き大幅なマイナスとなりました。(マークラインズより)

ファナック／ロボドリル 待望のフルモデルチェンジ！！

約5年ぶりにフルモデルチェンジしたロボドリル最新型

30番の立形マシニングセンタの代名詞であるファナック／ロボドリルが約5年ぶりにフルモデルチェンジいたしました。

機種名：ROBODRILL DCシリーズ

標準型：D54CS

ストローク延長型：D74CS



◇主な変更点◇

- ・さらなる生産性向上を実現、サイクルタイム短縮技術
→各軸の早送り速度、最大加速度UP。
- ・稼働率向上と保全コスト低減を実現、切粉対策技術
→新設計機械カバー、クーラント関連OPの改良。
- ・暖機運転レスで安定加工を実現、熱変位抑制技術
→熱変位を低減した新機械構造、新熱変位補正機能。

	D54CS	D74CS
テーブルサイズ(mm)：	650×400	850×400
移動量(X/Y/Z, mm)：	500/400/330	700/400/330
工作物許容質量：	300kg(OP：400kg)	
ATC：	14本／21本／28本	
主軸：	各種ラインアップ有り	
制御装置：	FANUC Series 31i-B5 Plus	

ご興味のある方は、まずは当社に見積依頼を！！

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

E-mail：aoki@bsmt.co.jp

青 空 機 械

検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)
 2009年 (株)兼松KGK 入社
 2010年
 ↓ 同社新潟営業所勤務
 2016年
 2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
 2017年
 ↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
 2020年
 2021年 ユアサ商事(株) 入社
 ↓ 同社新潟支店勤務
 2024年
 2024年 (株)青空機械 設立